

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公表番号】特表2016-501872(P2016-501872A)

【公表日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2015-544456(P2015-544456)

【国際特許分類】

A 0 1 N 43/56 (2006.01)

A 0 1 N 43/90 (2006.01)

A 0 1 N 47/14 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 55/02 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 43/56 C

A 0 1 N 43/90 1 0 3

A 0 1 N 47/14 A

A 0 1 P 3/00

A 0 1 N 55/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月24日(2016.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

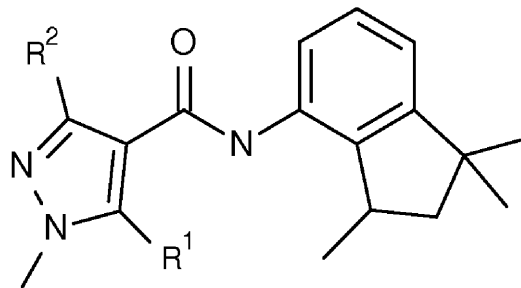
【特許請求の範囲】

【請求項1】

組成物であって、

(1) 一般式

【化1】



(I),

〔式中、

・ R¹ は、水素原子又はメチル基を表し；及び、

・ R² は、メチル基、ジフルオロメチル基又はトリフルオロメチル基を表す〕

で表される少なくとも1種類の化合物；及び、

(2)

(1.1) ピキサフェン(581809-46-3)、(1.2) ポスカリド(188425-85-6)、(1.3) カルボキシシン(5234-68-4)、(1.4) ジフルメトリム(130339-07-0)、(1.5) フェンフラム(24691-80-3)

)、(1.6)フルオピラム(658066-35-4)、(1.7)フルトラニル(66332-96-5)、(1.8)フルキサピロキサド(907204-31-3)、(1.9)フラメトピル(123572-88-3)、(1.10)フルメシクロックス(60568-05-0)、(1.11)イソピラザム(シン-エピマー性ラセミ化合物(1RS,4SR,9RS)とアンチ-エピマー性ラセミ化合物(1RS,4SR,9SR)の混合物)(881685-58-1)、(1.12)イソピラザム(アンチ-エピマー性ラセミ化合物 1RS,4SR,9SR)、(1.13)イソピラザム(アンチ-エピマー性エナンチオマー 1R,4S,9S)(683777-14-2)、(1.14)イソピラザム(アンチ-エピマー性エナンチオマー 1S,4R,9R)(1130207-91-8)、(1.15)イソピラザム(シン-エピマー性ラセミ化合物 1RS,4SR,9RS)、(1.16)イソピラザム(シン-エピマー性エナンチオマー 1R,4S,9R)(1240879-17-7)、(1.17)イソピラザム(シン-エピマー性エナンチオマー 1S,4R,9S)(1130207-94-1)、(1.18)メプロニル(55814-41-0)、(1.19)オキシカルボキシ(5259-88-1)、(1.20)ペンフルフェン(494793-67-8)、(1.21)ペンチオピラド(183675-82-3)、(1.22)セダキサン(874967-67-6)、(1.23)チフルザミド(130000-40-7)、(1.24)1-メチル-N-[2-(1,1,2,2-テトラフルオロエトキシ)フェニル]-3-(トリフルオロメチル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(923953-99-5)、(1.25)3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[2-(1,1,2,2-テトラフルオロエトキシ)フェニル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(923953-98-4)、(1.26)3-(ジフルオロメチル)-N-[4-フルオロ-2-(1,1,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロポキシ)フェニル]-1-メチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(1172611-40-3)、(1.27)N-[1-(2,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシプロパン-2-イル]-3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(1092400-95-7)、(1.28)5,8-ジフルオロ-N-[2-(2-フルオロ-4-{[4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル]オキシ}フェニル)エチル]キナゾリン-4-アミン(1210070-84-0)、(1.29)ベンゾピンジフルピル(1072957-71-1)、(1.30)N-[(1S,4R)-9-(ジクロロメチレン)-1,2,3,4-テトラヒドロ-1,4-メタノナフタレン-5-イル]-3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド、及び、(1.31)N-[(1R,4S)-9-(ジクロロメチレン)-1,2,3,4-テトラヒドロ-1,4-メタノナフタレン-5-イル]-3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド

からなるカルボキサミド類、又は、

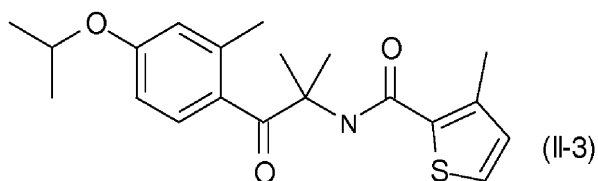
(2.1)2,6-ジメチル-1H,5H-[1,4]ジチイノ[2,3-c:5,6-c']ジピロール-1,3,5,7(2H,6H)-テトロン(16114-35-5)

;

(2.2)プロピネブ(12071-83-9);

(2.3)イソフェタミド(875915-78-9)[これは、式(II-3)]

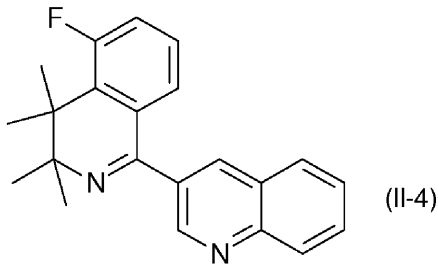
【化2】



で表される];

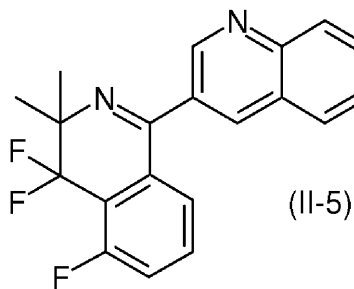
(2.4)3-(5-フルオロ-3,3,4,4-テトラメチル-3,4-ジヒドロイソ

キノリン - 1 - イル)キノリン (8 6 1 6 4 7 - 3 2 - 7)) [これは、式 (I I - 4)
【化 3】



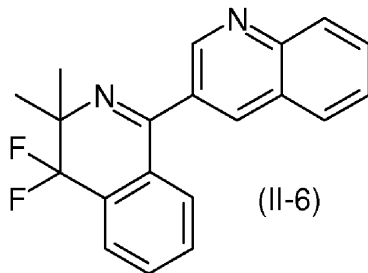
で表される] ;

(2 . 5) 3 - (4 , 4 , 5 - トリフルオロ - 3 , 3 - ジメチル - 3 , 4 - ジヒドロイソキノリン - 1 - イル)キノリン (8 6 1 6 4 7 - 8 5 - 0) [これは、式 (I I - 5)
【化 4】



で表される] ;

(2 . 6) 3 - (4 , 4 - ジフルオロ - 3 , 3 - ジメチル - 3 , 4 - ジヒドロイソキノリン - 1 - イル)キノリン [これは、式 (I I - 6)
【化 5】



で表される] ;

(2 . 7) 2 - { 2 - [(2 , 5 - ジメチルフェノキシ)メチル]フェニル} - 2 - メトキシ - N - メチルアセトアミド (1 7 3 6 6 2 - 9 7 - 0) ;

(2 . 8) 2 - { 2 - [(2 , 5 - ジメチルフェノキシ)メチル]フェニル} - 2 - メトキシ - N - メチルアセトアミド (3 9 4 6 5 7 - 2 4 - 0) ;

(2 . 9) カルベンダジム (1 0 6 0 5 - 2 1 - 7)

からなる非カルボキサミド系殺菌剤

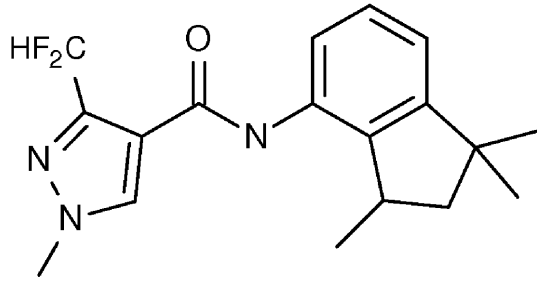
の群から選択される少なくとも 1 種類の殺菌剤 ;

を含んでいる、前記組成物。

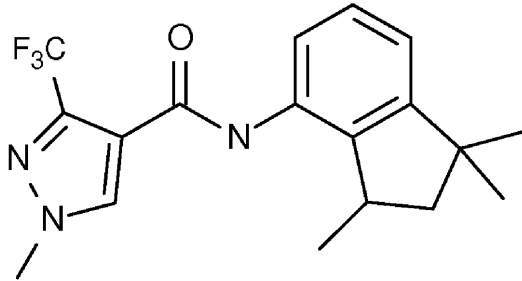
【請求項 2】

一般式 (I) で表される前記化合物が化合物 (I - 1) ~ 化合物 (I - 5) :

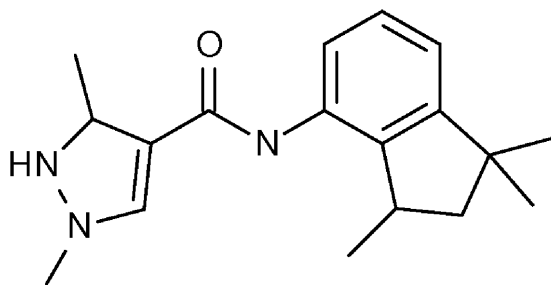
【化 6】



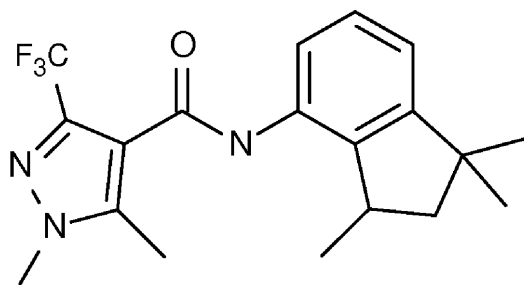
(I-1),



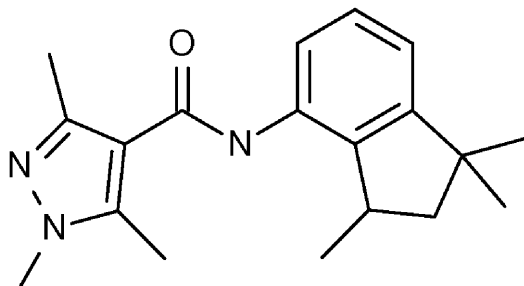
(I-2),



(I-3),



(I-4) and



(I-5).

のうちの1種類によって表される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記化合物が、

(1.1) ビキサフェン(581809-46-3)、(1.2) ボスカリド(188425-85-6)、(1.3) カルボキシシン(5234-68-4)、(1.6) フルオピラム(658066-35-4)、(1.8) フルクサピロキサド(907204-31-3)、(1.9) フラメトピル(123572-88-3)、(1.11) イソピラザム(シン-エピマー性ラセミ化合物(1RS, 4SR, 9RS)とアンチ-エピマー性ラセミ化合物(1RS, 4SR, 9SR)の混合物)(881685-58-1)、(1.12) イソピラザム(アンチ-エピマー性ラセミ化合物 1RS, 4SR, 9SR)、(1.13) イソピラザム(アンチ-エピマー性エナンチオマー 1R, 4S, 9S)(683777-14-2)、(1.14) イソピラザム(アンチ-エピマー性エナンチオマー 1S, 4R, 9R)(1130207-91-8)、(1.15) イソピラザム(シン-エピマー性ラセミ化合物 1RS, 4SR, 9RS)、(1.16) イソピラザム(シン-エピマー性エナンチオマー 1R, 4S, 9R)(1240879-17-7)、(1.17) イソピラザム(シン-エピマー性エナンチオマー 1S, 4R, 9S)(1130207-94-1)、(1.18) メプロニル(55814-41-0)、(1.19) オキシカルボキシシン(5259-88-1)、(1.20) ペンフルフェン(494793-67-8)、(1.21) ペンチオピラド(183675-82-3)、(1.22) セダキサン(874967-67-6)、(1.23) チフルザミド(130000-40-7)、(1.24) 1-メチル-N-[2-(1,1,2,2-テトラフルオロエトキシ)フェニル]-3-(トリフルオロメチル)-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(923953-99-5)、(1.25) 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[2-(1,1,2,2-テトラフルオロエトキシ)フェニル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(923953-98-4)、(1.26) 3-(ジフルオロメチル)-N-[4-フルオロ-2-(1,1,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロポキシ)フェニル]-1-メチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(1172611-40-3)、(1.27) N-[1-(2,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシプロパン-2-イル]-3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(1092400-95-7)、(1.28) 5,8-ジフルオロ-N-[2-(2-フルオロ-4-{[4-(トリフルオロメチル)ピリジン-2-イル]オキシ}フェニル)エチル]キナゾリン-4-アミン(1210070-84-0)、(1.29) ベンゾピンジフルピル(1072957-71-1)、(1.30) N-[(1S, 4R)-9-(ジクロロメチレン)-1,2,3,4-テトラヒドロ-1,4-メタノナフタレン-5-イル]-3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド、(1.31) N-[(1R, 4S)-9-(ジクロロメチレン)-1,2,3,4-テトラヒドロ-1,4-メタノナフタレン-5-イル]-3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド

からなるカルボキサミド類の群、又は、

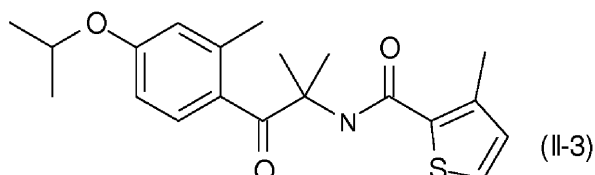
(2.1) 2,6-ジメチル-1H,5H-[1,4]ジチイノ[2,3-c:5,6-c']ジピロール-1,3,5,7(2H,6H)-テトロン(16114-35-5)

;

(2.2) プロピネブ(12071-83-9);

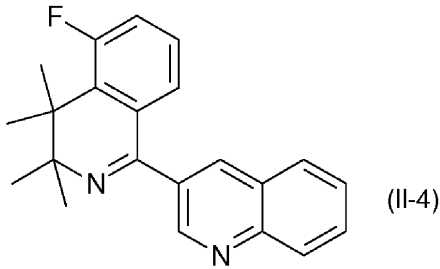
(2.3) イソフェタミド(875915-78-9)〔これは、式(II-3)〕

【化7】



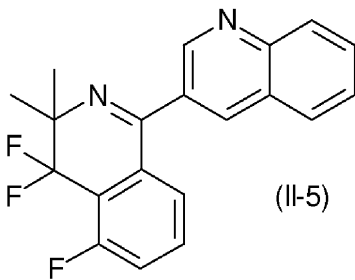
で表される]；

(2.4) 3 - (5 - フルオロ - 3, 3, 4, 4 - テトラメチル - 3, 4 - ジヒドロイソキノリン - 1 - イル) キノリン (861647 - 32 - 7) [これは、式 (II - 4)]
【化8】



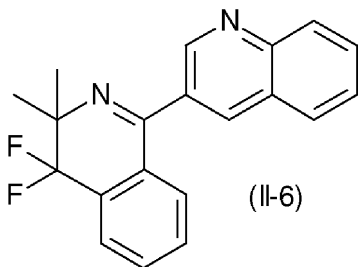
で表される]；

(2.5) 3 - (4, 4, 5 - トリフルオロ - 3, 3 - ジメチル - 3, 4 - ジヒドロイソキノリン - 1 - イル) キノリン (861647 - 85 - 0) [これは、式 (II - 5)]
【化9】



で表される]；

(2.6) 3 - (4, 4 - ジフルオロ - 3, 3 - ジメチル - 3, 4 - ジヒドロイソキノリン - 1 - イル) キノリン [これは、式 (II - 6)]
【化10】



で表される]；

(2.7) 2 - { 2 - [(2, 5 - ジメチルフェノキシ)メチル]フェニル } - 2 - メトキシ - N - メチルアセトアミド (173662 - 97 - 0)；

(2.8) 2 - { 2 - [(2, 5 - ジメチルフェノキシ)メチル]フェニル } - 2 - メトキシ - N - メチルアセトアミド (394657 - 24 - 0)；

(2.9) カルベンダジム (10605 - 21 - 7)

からなる非カルボキサミド系殺菌剤の群

から選択される、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

前記殺菌剤が、(1.1) ビキサフェン (581809 - 46 - 3)、(1.2) ボスカリド (188425 - 85 - 6)、(1.6) フルオピラム (658066 - 35 - 4)、(1.8) フルキサピロキサド (907204 - 31 - 3)、(1.21) ペンチオピラド (183675 - 82 - 3)、(1.27) N - [1 - (2, 4 - ジクロロフェニル) - 1 - メトキシプロパン - 2 - イル] - 3 - (ジフルオロメチル) - 1 - メチル - 1

H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド (1 0 9 2 4 0 0 - 9 5 - 7)、(1 . 2 9) ベンゾピンジフルピル (1 0 7 2 9 5 7 - 7 1 - 1)、(1 . 3 0) N - [(1 S , 4 R) - 9 - (ジクロロメチレン) - 1 , 2 , 3 , 4 - テトラヒドロ - 1 , 4 - メタノナフタレン - 5 - イル] - 3 - (ジフルオロメチル) - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド、及び、(1 . 3 1) N - [(1 R , 4 S) - 9 - (ジクロロメチレン) - 1 , 2 , 3 , 4 - テトラヒドロ - 1 , 4 - メタノナフタレン - 5 - イル] - 3 - (ジフルオロメチル) - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド、(2 . 1) 2 , 6 - ジメチル - 1 H , 5 H - [1 , 4] ジチイノ [2 , 3 - c : 5 , 6 - c '] ジピロール - 1 , 3 , 5 , 7 (2 H , 6 H) - テترون (1 6 1 1 4 - 3 5 - 5)、(2 . 2) プロピネブ (1 2 0 7 1 - 8 3 - 9)、(2 . 3) イソフェタミド (8 7 5 9 1 5 - 7 8 - 9)、(2 . 4) 3 - (5 - フルオロ - 3 , 3 , 4 , 4 - テトラメチル - 3 , 4 - ジヒドロイソキノリン - 1 - イル) キノリン (8 6 1 6 4 7 - 3 2 - 7)、(2 . 5) 3 - (4 , 4 , 5 - トリフルオロ - 3 , 3 - ジメチル - 3 , 4 - ジヒドロイソキノリン - 1 - イル) キノリン (8 6 1 6 4 7 - 8 5 - 0)、(2 . 6) 3 - (4 , 4 - ジフルオロ - 3 , 3 - ジメチル - 3 , 4 - ジヒドロイソキノリン - 1 - イル) キノロン、(2 . 7) 2 - { 2 - [(2 , 5 - ジメチルフェノキシ) メチル] フェニル } - 2 - メトキシ - N - メチルアセトアミド (1 7 3 6 6 2 - 9 7 - 0)、(2 . 8) 2 - { 2 - [(2 , 5 - ジメチルフェノキシ) メチル] フェニル } - 2 - メトキシ - N - メチルアセトアミド (3 9 4 6 5 7 - 2 4 - 0)、(2 . 9) カルベンダジム (1 0 6 0 5 - 2 1 - 7) から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の組成物。

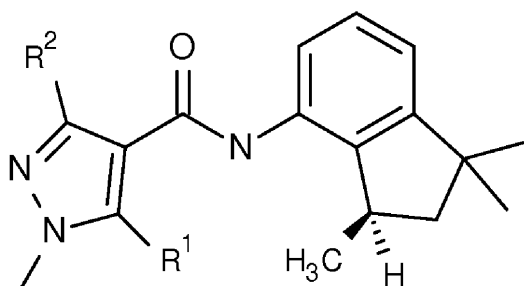
【請求項 5】

前記殺菌剤が、(1 . 1) ビキサフェン (5 8 1 8 0 9 - 4 6 - 3)、(1 . 2) ポスカリド (1 8 8 4 2 5 - 8 5 - 6)、(1 . 6) フルオピラム (6 5 8 0 6 6 - 3 5 - 4)、(1 . 8) フルキサピロキサド (9 0 7 2 0 4 - 3 1 - 3)、(1 . 2 1) ペンチオピラド (1 8 3 6 7 5 - 8 2 - 3)、(1 . 2 7) N - [1 - (2 , 4 - ジクロロフェニル) - 1 - メトキシプロパン - 2 - イル] - 3 - (ジフルオロメチル) - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド (1 0 9 2 4 0 0 - 9 5 - 7)、(1 . 2 9) ベンゾピンジフルピル (1 0 7 2 9 5 7 - 7 1 - 1)、(1 . 3 0) N - [(1 S , 4 R) - 9 - (ジクロロメチレン) - 1 , 2 , 3 , 4 - テトラヒドロ - 1 , 4 - メタノナフタレン - 5 - イル] - 3 - (ジフルオロメチル) - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド及び (1 . 3 1) N - [(1 R , 4 S) - 9 - (ジクロロメチレン) - 1 , 2 , 3 , 4 - テトラヒドロ - 1 , 4 - メタノナフタレン - 5 - イル] - 3 - (ジフルオロメチル) - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 4 - カルボキサミドから選択される、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

式 (I - 1) で表される前記化合物が、式 (I - (R))

【化 1 1】



(I-(R))

〔式中、

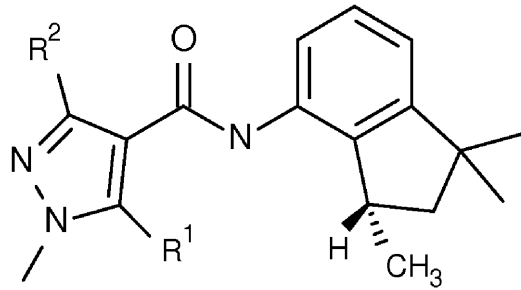
- ・ R¹ は、水素原子又はメチル基を表し；及び、
- ・ R² は、メチル基、ジフルオロメチル基又はトリフルオロメチル基を表す〕

で表される、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

式 (I - 1) で表される前記化合物が、式 (I - (S))

【化 1 2】



(I-(S))

〔式中、

- ・ R¹ は、水素原子又はメチル基を表し；及び、
- ・ R² は、メチル基、ジフルオロメチル基又はトリフルオロメチル基を表す〕

で表される、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

有害な微生物を防除する方法であって、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物を該有害生物又はそれらの生息環境に接触させることを含む、前記方法。

【請求項 9】

種子を処理する方法であって、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物を該種子に接触させることを含む、前記方法。

【請求項 10】

組成物を調製する方法であって、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の相乗的に有効な混合物を増量剤、界面活性剤又はそれらの組合せと混合させることを含む、前記方法。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物で処理された種子。